



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 Group CEO (氏名) 吉田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役員 CFO&CSO

(氏名) 三橋 靖夫 TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	217,511	△20.8	35,269	△59.9	33,317	△65.0	25,938	△63.5	25,938	△63.5	44,628	△49.0
2023年3月期第2四半期	274,806	46.2	87,916	85.2	95,247	101.5	71,161	101.9	71,161	101.9	87,492	129.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	35.18	35.06
2023年3月期第2四半期	93.88	93.53

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	630,766	401,813	401,813	63.7
2023年3月期	600,224	368,694	368,694	61.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	65.00	—	70.00	135.00
2024年3月期	—	65.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期および2024年3月期の第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	470,000	△16.1	80,000	△52.3	78,500	△54.2	60,000	△54.0	60,000	△54.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付P. 4「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	766,141,256株	2023年3月期	766,169,060株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	28,012,700株	2023年3月期	29,312,904株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	737,318,084株	2023年3月期2Q	758,033,876株

- (注) 1. 2023年3月期の期末自己株式数には、業績連動型株式報酬信託口が保有する当社株式648,732株が含まれております。また期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。
2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

## 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 財政状態の概況 .....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	P. 3
(4) 今後の見通し .....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記 .....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 10
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 10
(セグメント情報) .....	P. 10
(重要な後発事象) .....	P. 12
2023年度第2四半期決算(連結)の概要 .....	P. 14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の状況 (単位:億円)

	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	2024年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	2,748	2,175	△20.8%
営業利益	879	353	△59.9%
税引前四半期利益	952	333	△65.0%
四半期利益	712	259	△63.5%

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウィズコロナ政策などにより前年同期と比較して経済活動の正常化が進みました。しかしながら、根強いインフレ圧力や米国を中心とした金融引き締め政策、中国の景気減速などから、世界経済の先行き不透明感は依然として強い状況が続きました。

このような世界経済情勢のもと、スマートフォンやパソコン、テレビなど主要な民生機器での需要減少、さらにはデータセンタ投資も減速したことから、半導体市場においても関連する半導体の需要が落ち込みました。自動車や産業機器向けなどの一部の半導体では需要が堅調なものの、多くの半導体メーカーでは在庫調整や設備投資の抑制が続いており、全体として半導体市場は縮小しました。

当社の半導体試験装置ビジネスにおいては過去3年度にわたり継続された顧客の投資により、一部の顧客サプライチェーンで設備の余剰が発生しています。加えて半導体市況自体の弱含みもあり、当社製品の需要は前年同期に比べ大きく落ち込みました。

これらの結果、売上高は2,175億円(前年同期比20.8%減)となりました。利益面では、減収に加え好採算品の販売比率低下から営業利益は353億円(同59.9%減)となりました。為替差損による金融費用の増加に伴い税引前四半期利益は333億円(同65.0%減)、四半期利益は259億円(同63.5%減)となりました。当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが139円(前年同期130円)、ユーロが151円(同137円)、海外売上比率は95.4%(前年同期97.2%)でした。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

(単位:億円)

	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	2024年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	1,949	1,517	△22.1%
セグメント利益	819	396	△51.7%

当部門では、SoC半導体用試験装置は自動車や産業機器関連の半導体に向けた売上は堅調でした。しかしながらスマートフォン市況の停滞やサーバー投資の減速から、それらに関連する高性能な半導体への製品販売が落ち込みました。メモリ半導体用試験装置については、高性能なDRAMに向けた試験装置需要は堅調なものの、スマートフォンなどに向けたメモリ半導体市況の悪化を受け、売上が減少しました。利益面においても、減収に加え、製品ミックスの悪化や部材調達コストが上昇したこともあり、当セグメントの収益性が低下しました。

以上により、当部門の売上高は1,517億円(前年同期比22.1%減)、セグメント利益は396億円(同51.7%減)となりました。

## &lt;メカトロニクス関連事業部門&gt;

(単位：億円)

	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	2024年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	282	210	△25.5%
セグメント利益	71	17	△75.7%

当部門では、半導体試験装置の需要減少を背景に、関連するデバイス・インタフェース製品、テスト・ハンドラの売上が減少しました。ナノテクノロジー製品も前年度に顧客へ製品納入が進んだことから、売上が減少しました。

以上により、当部門の売上高は210億円（前年同期比25.5%減）、セグメント利益は17億円（同75.7%減）となりました。

## &lt;サービス他部門&gt;

(単位：億円)

	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	2024年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	518	448	△13.5%
セグメント利益	77	19	△76.0%

当部門では、当社製品の設置台数の増加に伴い保守サービスの売上は伸長しました。しかしながら、特定顧客向けの売上比率が高いシステムレベルテスト事業において、民生機器向けの需要減少の影響により売上が低調でした。また当事業において、中長期的な事業成長を見越した生産体制および開発体制強化によりコストが増加していることから、当セグメントの利益額は前年同期を大幅に下回りました。なお第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、取引先との係争に関する受取和解金等約32億円を含んでいます。

以上により、当部門の売上高は448億円（前年同期比13.5%減）、セグメント利益は19億円（同76.0%減）となりました。

## (2) 財政状態の概況

当第2四半期末の総資産は、営業債権およびその他の債権が236億円減少したものの、棚卸資産が286億円、のれんおよび無形資産が124億円、有形固定資産が123億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比305億円増加の6,308億円となりました。負債合計は、借入金が216億円増加したものの、営業債務およびその他の債務が153億円、未払法人所得税が150億円それぞれ減少したことなどにより、前年度末比26億円減少の2,290億円となりました。また、資本合計は4,018億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比2.3ポイント増加の63.7%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より78億円減少し、777億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益333億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の減少（271億円）、法人所得税の支払（△260億円）、棚卸資産の増加（△248億円）、営業債務およびその他の債務の減少（△183億円）に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、1億円の収入（前年同期は、464億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、177億円の支出（前年同期は、130億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得（△100億円）と子会社の取得（△83億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、52億円の収入（前年同期は、421億円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加（200億円）と配当金の支払（△129億円）によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の当社を取り巻く市場環境を展望しますと、中長期的には半導体は社会のデジタル・トランスフォーメーションやグリーン・トランスフォーメーションを支えるインフラストラクチャーとして、さらに高い機能や信頼性が求められ、半導体市場の成長は揺るぎないものと考えます。AIを活用する新たなアプリケーションの台頭などによりデジタル革命が促進されるとともに、カーボンニュートラル対応の社会的要求の高まりから、エネルギー効率改善を実現する半導体技術の重要度も増しています。顧客においてもさらなる微細化をはじめとした次世代デバイスの開発が意欲的に継続されています。「安全・安心・心地よい」環境・社会を支える半導体を世の中に提供するための半導体試験装置の需要も半導体市場の成長と軌を一にして成長していくものと予想します。

しかしながら、短期的には地政学的リスクの拡大や資源価格をはじめとした物価上昇、また中国経済のさらなる減速懸念、急激な為替変動リスクなど、事業環境の不確実性が高い状況は継続しています。最終製品需要については、2023年7月に公表した業績予想での想定よりも回復が遅れる様相を呈していることで、半導体メーカーでの生産調整も当面継続されると見込んでいます。生成AIなどに触発され、ハイエンドのSoC半導体やメモリ半導体向けでは当社製品への投資が上向き兆しも見られるものの、スマートフォンなどの需要回復が遅れており、当社のテスト需要の落ち込みも当初の想定より長引くものと見込んでいます。なお米国および同盟国による半導体製造装置の対中輸出規制強化に関して、現時点では、当社の2023年度の業績に対する直接的な影響は限定的と考えておりますが状況を注視してまいります。

当連結会計年度の通期連結業績予想については、これらの見通しおよび当第2四半期連結累計期間の業績進捗、為替の状況などを踏まえ、売上高については4,700億円と、2023年7月に公表した予想の4,800億円から100億円減額します。利益面についても、採算性の良い製品の売上構成比率の低下と部材調達コストの上昇などを踏まえ、営業利益は1,050億円から800億円へ、税引前利益は1,035億円から785億円へ、当期利益は780億円から600億円へ、それぞれ下方修正します。当連結会計年度下期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが145円、ユーロが155円です。

上述のとおり当社を取り巻く事業環境は世界経済の不透明さを筆頭に不確実な状況が継続しています。外部環境の変化に十分に注意を払い、よりいっそうのコストコントロールの実施など機動的に対応してまいります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	85,537	77,725
営業債権およびその他の債権	102,152	78,592
棚卸資産	169,082	197,639
その他の流動資産	17,924	29,363
流動資産合計	374,695	383,319
非流動資産		
有形固定資産	64,046	76,390
使用権資産	17,312	16,819
のれんおよび無形資産	95,767	108,124
その他の金融資産	21,488	19,293
繰延税金資産	26,522	25,701
その他の非流動資産	394	1,120
非流動資産合計	225,529	247,447
資産合計	600,224	630,766
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	89,262	73,966
借入金	13,357	34,958
未払法人所得税	30,635	15,649
引当金	9,093	8,937
リース負債	4,587	4,858
その他の金融負債	4,903	2,356
その他の流動負債	22,852	31,836
流動負債合計	174,689	172,560
非流動負債		
借入金	20,000	20,003
リース負債	12,900	12,157
退職給付に係る負債	16,812	17,053
繰延税金負債	5,773	5,648
その他の非流動負債	1,356	1,532
非流動負債合計	56,841	56,393
負債合計	231,530	228,953
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,622	44,306
自己株式	△59,099	△56,926
利益剰余金	319,171	331,743
その他の資本の構成要素	31,637	50,327
親会社の所有者に帰属する持分合計	368,694	401,813
資本合計	368,694	401,813
負債および資本合計	600,224	630,766

## (2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	274,806	217,511
売上原価	△116,046	△108,502
売上総利益	158,760	109,009
販売費および一般管理費	△71,022	△77,164
その他の収益	366	3,616
その他の費用	△188	△192
営業利益	87,916	35,269
金融収益	7,917	546
金融費用	△586	△2,498
税引前四半期利益	95,247	33,317
法人所得税費用	△24,086	△7,379
四半期利益	71,161	25,938
四半期利益の帰属 親会社の所有者	71,161	25,938
1株当たり四半期利益		
基本的	93.88円	35.18円
希薄化後	93.53円	35.06円

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	138,863	116,260
売上原価	△59,022	△58,202
売上総利益	79,841	58,058
販売費および一般管理費	△36,998	△40,261
その他の収益	307	3,289
その他の費用	△17	△86
営業利益	43,133	21,000
金融収益	3,925	252
金融費用	△227	△896
税引前四半期利益	46,831	20,356
法人所得税費用	△12,166	△3,620
四半期利益	34,665	16,736
四半期利益の帰属 親会社の所有者	34,665	16,736
1株当たり四半期利益		
基本的	45.83円	22.69円
希薄化後	45.69円	22.62円



## (要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	71,161	25,938
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	△1,411	△3,683
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	17,742	22,373
税引後その他の包括利益	16,331	18,690
四半期包括利益	87,492	44,628
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	87,492	44,628

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	34,665	16,736
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	1,314	△4,665
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,445	5,729
税引後その他の包括利益	6,759	1,064
四半期包括利益	41,424	17,800
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	41,424	17,800

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2022年4月1日 残高	32,363	44,995	△81,547	279,828	18,982	294,621	294,621
四半期利益				71,161		71,161	71,161
その他の包括利益					16,331	16,331	16,331
四半期包括利益	—	—	—	71,161	16,331	87,492	87,492
自己株式の取得		△2	△27,273			△27,275	△27,275
自己株式の処分		△1,542	1,599	△8		49	49
自己株式の消却			68,279	△68,279		—	—
配当金				△13,294		△13,294	△13,294
株式に基づく報酬取引		814				814	814
所有者との取引額等合計	—	△730	42,605	△81,581	—	△39,706	△39,706
2022年9月30日 残高	32,363	44,265	△38,942	269,408	35,313	342,407	342,407

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2023年4月1日 残高	32,363	44,622	△59,099	319,171	31,637	368,694	368,694
四半期利益				25,938		25,938	25,938
その他の包括利益					18,690	18,690	18,690
四半期包括利益	—	—	—	25,938	18,690	44,628	44,628
自己株式の取得			△12			△12	△12
自己株式の処分		△1,128	2,149	△435		586	586
自己株式の消却			36	△36		—	—
配当金				△12,895		△12,895	△12,895
株式に基づく報酬取引		812				812	812
所有者との取引額等合計	—	△316	2,173	△13,366	—	△11,509	△11,509
2023年9月30日 残高	32,363	44,306	△56,926	331,743	50,327	401,813	401,813

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	95,247	33,317
減価償却費および償却費	9,903	12,492
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	2,382	27,098
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△34,460	△24,835
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	8,046	△18,254
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,138	△199
前受金の増減額 (△は減少)	567	7,729
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△907	△381
その他	△10,036	△10,672
小計	71,880	26,295
利息および配当金の受取額	88	500
利息の支払額	△117	△720
法人所得税の支払額	△25,413	△25,978
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	46,438	97
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	—	1,150
有形固定資産の取得による支出	△9,416	△9,957
無形資産の取得による支出	△363	△382
子会社の取得による支出	△3,502	△8,260
その他	307	△276
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△12,974	△17,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	20,000
自己株式の処分による収入	15	542
自己株式の取得による支出	△27,276	△12
配当金の支払額	△13,281	△12,893
リース負債の返済による支出	△1,530	△2,387
その他	△4	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△42,076	5,249
現金および現金同等物に係る換算差額	6,956	4,567
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△1,656	△7,812
現金および現金同等物の期首残高	116,582	85,537
現金および現金同等物の四半期末残高	114,926	77,725

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	194,849	28,153	51,804	—	274,806
セグメント間の売上高	20	—	—	△20	—
合計	194,869	28,153	51,804	△20	274,806
セグメント利益(調整前営業利益)	81,882	7,062	7,737	△8,030	88,651
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△735
営業利益	—	—	—	—	87,916
金融収益	—	—	—	—	7,917
金融費用	—	—	—	—	△586
税引前四半期利益	—	—	—	—	95,247

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	151,717	20,976	44,818	—	217,511
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	151,717	20,976	44,818	—	217,511
セグメント利益(調整前営業利益)	39,568	1,719	1,854	△6,930	36,211
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△942
営業利益	—	—	—	—	35,269
金融収益	—	—	—	—	546
金融費用	—	—	—	—	△2,498
税引前四半期利益	—	—	—	—	33,317

前第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	98,787	12,727	27,349	—	138,863
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	98,787	12,727	27,349	—	138,863
セグメント利益 (調整前営業利益)	41,148	2,511	3,878	△4,022	43,515
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△382
営業利益	—	—	—	—	43,133
金融収益	—	—	—	—	3,925
金融費用	—	—	—	—	△227
税引前四半期利益	—	—	—	—	46,831

当第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	81,170	12,432	22,658	—	116,260
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	81,170	12,432	22,658	—	116,260
セグメント利益 (調整前営業利益)	21,236	1,716	2,488	△4,046	21,394
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△394
営業利益	—	—	—	—	21,000
金融収益	—	—	—	—	252
金融費用	—	—	—	—	△896
税引前四半期利益	—	—	—	—	20,356

(注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2. 株式報酬費用は、ストック・オプション、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。

3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をベースとしております。

4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

6. 当第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結会計期間におけるサービス他のセグメント利益には、取引先との係争に関する受取和解金等3,179百万円が含まれます。

## (重要な後発事象)

当社は、2023年5月19日開催の取締役会において、以下のとおり、株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更について決議しました。

## (1) 株式の分割について

## ① 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## ② 分割の方法

2023年9月30日を基準日として同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式1株を、1株につき4株の割合をもって分割しました。

## ③ 分割により増加する株式数

a. 株式分割前の発行済株式総数	191,535,314株
b. 今回の分割により増加する株式数	574,605,942株
c. 株式分割後の発行済株式総数	766,141,256株
d. 株式分割後の発行可能株式総数	1,760,000,000株

## ④ 株式分割の日程

基準日公告日	2023年9月15日(金)
基準日	2023年9月30日(土)
効力発生日	2023年10月1日(日)

## ⑤ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりです。

	2023年3月期第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	2024年3月期第2四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	458.53	544.67
基本的1株当たり四半期利益(円)	93.88	35.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	93.53	35.06

## (2) 株式分割に伴う定款の一部変更

## ① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2023年10月1日を効力発生日として、当社定款の一部を変更しました。

## ② 変更内容

変更前	変更後
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は 440,000千株とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は 1,760,000千株とする。

## ③ 定款変更の日程

取締役会決議日	2023年5月19日(金)
効力発生日	2023年10月1日(日)

(3) その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

② 配当について

今回の株式分割は、2023年10月1日を効力発生日としておりますので、2023年9月30日を基準日とする2024年3月期の中間配当金につきましては、株式分割前の株式が対象となります。

③ 新株予約権1株当たりの行使価格の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権1株当たりの行使価額を2023年10月1日以降、次のとおり調整しました。

新株予約権の名称	調整前行使価額	調整後行使価額
第32回新株予約権 (2019年6月26日取締役会 発行決議)	3,090円	773円
第33回新株予約権 (2020年6月25日取締役会 発行決議)	6,990円	1,748円

2023年10月31日  
株式会社アドバンテスト

## 2023年度第2四半期 決算（連結）の概要

## 1. 損益

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度実績					2023年度業績予想	
		1 Q	2 Q	1 Q比	2 Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	5,602	1,013	1,162	14.8%	2,175	△20.8%	(4,800) 4,700	△16.1%
売上原価	△2,411	△503	△582	15.7%	△1,085	△6.5%	—	—
販売費および一般管理費	△1,521	△369	△402	9.1%	△771	8.6%	—	—
その他の収益・費用	7	2	32	14.5倍	34	19.2倍	—	—
営業利益 (売上高比率)	1,677 (29.9%)	143 (14.1%)	210 (18.1%)	47.2%	353 (16.2%)	△59.9%	(1,050) 800 (17.0%)	△52.3%
金融収益・金融費用	36	△13	△7	△50.8%	△20	—	—	—
税引前当期利益 (売上高比率)	1,713 (30.6%)	130 (12.8%)	203 (17.5%)	57.1%	333 (15.3%)	△65.0%	(1,035) 785 (16.7%)	△54.2%
法人所得税費用	△409	△38	△36	△3.7%	△74	△69.4%	—	—
当期利益 (売上高比率)	1,304 (23.3%)	92 (9.1%)	167 (14.4%)	81.9%	259 (11.9%)	△63.5%	(780) 600 (12.8%)	△54.0%

(注) 上段( )の数値は、2023年7月26日発表時の予想であります。

## 2. 財政状態

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度実績		
	4 Q末	1 Q末	2 Q末	1 Q比
総資産	6,002	6,077	6,308	3.8%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	3,687	3,836	4,018	4.7%
親会社所有者帰属持分比率	61.4%	63.1%	63.7%	—

## 3. 配当の状況

(単位：円)

	2022年度実績			2023年度		
	中間	期末	年間	中間	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	65.00	70.00	135.00	(65.00) 65.00	未定	未定

(注) 1. 上段( )の数値は、2023年7月26日発表時の予想であります。

2023年度中間配当については、本日公表の「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 現時点では2023年度の期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年度および2023年度中間配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。